NS形継ぎ輪(離脱防止押輪使用)チェックシート										
工事名	<u> </u>		- 4 				<u> </u>	年	月	日
I Z								<u> </u>		
配 管 図 No. 測 点 No.										
呼び径・管種										
FOYE FIE										
①バックアップリングの向き、分割	郊の位置		⑦L′ ~				_ Øl	, _		
~		2		1)			4	12	←矢袖	見
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	クリング分割部	矢視→	Y					#		
ゴム輪 バックアップリング ③			Asser A		7 6	y ₁	P. Will		7	
		\	白線B 白	線A					1	
・	バックアップリング									
	_	\$J4	輪の出入れ		_					
	<u>-</u>		ALL	$_{\rm R}$	c					
管 No. および形状										
略図										
押輪製造メーカ名				***					単	位mm
清掃				備考	夏惠宗	の位置	呼ひ	$\overline{}$	ℓ 1 220	
滑 剤 の 塗 布				1. □7	外红小	マノ 正 但	50		220	
① バックアップリングの向	(1)			_ 80		<i>l</i> 1	70		257	
き、分割部の位置	(2)			10	10		80		265	
② T頭ボルト	数			↓	↓ ∃線A		J 90 100		265 268	
	トルク			0 = :	kæı ⊢	40 88 63 /	<u> </u>			
③ 押しボルト	数					端間隔(y 去(y _l の場合				
	トルク			かみし	V.D. 34	ム (yiv <i>)-m</i> j p	コ <i>)</i> 単位m			
4	上			[II]	び径	y 1	上'	ή		
押輪~受口間隔	右				500	260	105			
	下				600	260	105			
	左				700	300	87 98	4		
(5)	上			L	900	305 305	98	\dashv		
ゴム輪の出入状態	右				1000	310	103	1		
	下									
	左									
6	上									
両挿し口端の間隔(y ₁)	右									
	下									
	左									
⑦ L'	上									
・	右									
	下									
	左									
判	定									

判定基準: ①バックアップリングの向き、分割部の位置: (1)バックアップリングの羽根部がゴム輪側にあること。(2)バックアップリング分割部とロックリング分割部が重ならないこと。

④押輪~受口間隔:最大値-最小値≦5mm(同一円周上)

⑤ゴム輪の出入状態:同一円周上にA、CまたはA、B、Cが同時に存在しないこと

注)両挿し口端の間隔 (y1) は、一方から配管する場合には記入不要。L'(受口端面~白線の間隔)は、せめ配管の場合には記入不要。